



相談支援専門員・サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者  
専門コース別研修  
**障害児支援**

都道府県での実施  
に向けて

# これからの流れ

時間	実施すること
16:15～16:35 (全体)	都道府県での障害児支援の専門コース別研修の実施状況についてご報告頂きます。
16:35～17:10 (ブレイクアウトルーム)	<p>ブレイクアウトルームにて情報共有をして頂きます。事前課題でご記入頂いたことを、グループ内でそれぞれご報告ください。</p> <p>その後、それぞれの報告を聞いての感想や、もっと聴いてみたいことなどのやり取りをしてください。</p> <p>講師がそれぞれのルームに出入りします。もし、尋ねたいことがあればその時に質問してください。</p>
17:10～17:30 (全体)	各講師よりコメントしていきます。

## 事前課題

1. 貴都道府県で過去10年（平成25年度～令和4年度）までに実施された障害児支援に関する専門コース別研修や児発管のスキルアップ研修等の実施回数を調べてください。

- |                                |       |       |   |
|--------------------------------|-------|-------|---|
| ①相談支援専門員を対象とした専門コース別研修         | ..... | _____ | 回 |
| ②児童発達支援管理責任者を対象とした研修           | ..... | _____ | 回 |
| ③相談支援専門員・児童発達支援管理責任者双方を対象とした研修 | ..... | _____ | 回 |
- \* ①②と③の回数は重複しないようにカウントしてください。

2. 支援現場からの児童期の関する研修ニーズは高いだけに、今回示している障害児支援の専門コース別研修を企画していくことは重要ですが、この研修を実施していくために、具体的にはどのような準備が必要だと考えられるかをご記入ください。（すでに実施してきた都道府県におきましては、実施して見えてきた課題をご記入ください。）

3. 本研修で示していく障害児支援の専門コース別研修を実施するために、受講するあなた自身は、研修を受けた後にどのように行動すれば良いと思いますか？（受講前ですが、考えつくことを何でもご記入ください。）

障害児支援コース 標準プログラム

2. 障害児支援

科目	獲得目標	内容	時間数
児童期における支援提供の基本姿勢（講義）	児童期における支援提供の基本姿勢及び障害児支援の現状について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児支援を含む児童期全般の現状と動向</li> <li>・ 障害児支援の基本理念と役割・機能（権利擁護、インクルージョン等を含める）</li> <li>・ 児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドライン、保育所等訪問支援の手引き（概要及び求められる基本姿勢について触れる）</li> </ul>	1. 5
児童期における支援提供のポイント（講義）	児童期における支援提供の特徴について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童期における支援に関する基本的視点 発達支援（狭義の発達支援と生活支援） 家族支援（子どもの成長発達と家族、保護者への支援、きょうだいや家族の存在） 地域連携（関係機関の把握と調整、役割分担）</li> <li>・ 子どものライフステージと支援 乳幼児期、学童期、思春期、青年期各期の特徴と発達課題 ライフステージにより移り変わる関係機関と移行期の支援（就園、就学、進級、進学、就職等）</li> <li>・ 子どもの社会化・関係性の拡がり と支援における連携 友達の重要性 各ライフステージ毎の関係機関・関係者との連携（横の連携） ライフステージの移行や将来に向けた連携（縦の連携）</li> </ul>	2. 0
児童期における発達支援（講義・演習）	発達支援の重要性について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童期におけるアセスメントの実際（年齢・生活・発達像に基づく課題の整理を含める）</li> <li>・ 支援に関する計画の作成における発達支援の視点</li> <li>・ 発達支援の視点からのモニタリングの意義とポイント</li> </ul>	1. 5
児童期における相談支援の目指す方向性（講義）	児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の関係について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童期における相談支援の特長と役割、基本的視点</li> <li>・ 児童期における相談支援の現状（障害児福祉計画と体制整備、セルフプランについてを含める）</li> <li>・ 児童発達支援管理責任者の地域連携における役割と現状</li> <li>・ 相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（計画書や支援方針の共有を含めた協働のあり方や現状と課題等について触れる）</li> <li>・ 児童期における支援会議（サービス担当者会議や個別支援会議等の機能、会議の進め方及び留意点等について触れる）</li> </ul>	1. 5



障害児支援コース 標準プログラム

<p>児童期における相談支援の初期的な対応 (演習)</p>	<p>相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携、障害児支援利用計画と個別支援計画の関係性について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童期の相談支援のプロセスと障害児支援利用計画の作成</li> <li>・ 児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（チーム支援の必要性、情報・目的の共有と役割分担の重要性）</li> <li>・ 相談支援専門員と児童発達支援管理責任者が実施する連携等のための会議（サービス担当者会議等の運営の基本） （※以上について、事例に基づく演習を実施する。）</li> </ul>	<p>2. 0</p>
<p>児童期における支援提供プロセスの管理に関する演習（演習）</p>	<p>児童期における個別支援計画の策定や中間評価と計画の修正等による支援提供のプロセス管理、支援提供に係るマネジメントについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児通所支援等の支援提供プロセスと個別支援計画の作成 （※以上について、モニタリングまでを含めた一連の支援提供プロセスの管理について、事例に基づく演習を実施する。）</li> </ul>	<p>3. 0</p>
<p>支援内容のチェックとマネジメントの実践（講義）</p>	<p>相談支援専門員及び児童発達支援管理責任者としての役割について、児童期における支援提供のプロセスに沿って研修の振り返りを行い、研修修了後の実践に向けた気づきを持つことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員の役割の再確認</li> <li>・ 児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員の自己評価</li> <li>・ 児童発達支援管理責任者と相談支援専門員、関係機関（自立支援協議会を含む）との連携に関する自己評価</li> <li>・ 今後の業務改善（チーム作りを含む）に向けたアクションプラン作成</li> </ul>	<p>1. 5</p>
<p>合計</p>			<p>13</p>

# 本研修（障害児支援）のまとめ

こどもの時期の支援のあり方について、基本的なことを学ぶ研修プログラムです。

こどもの時期の相談支援専門員と児童発達支援管理責任者は、まだまだそれぞれの役割が十分理解されていません。

こどもの時期の支援体制が確立していくことが、成人期の生活の充実に結びついていくことでしょう。

二日間での研修の実施は、なかなか難しいものですが、都道府県内の児童期の研修体制を再建していく上でも是非挑戦してください。